

佐藤 潤
Sato Jun

与野図書館

Q【佐藤潤】 中央区役所周辺の公共施設再編事業について、与野図書館の要求水準の決定のプロセスと今後の変更について。

A【副教育長】 整備にあたっては、PFI事業による整備手法を採用しており、提案の幅が広いものとなっている。

与野図書館の開館時間については、現行と同じ時間を最低水準として要求し、民間事業者からの自由な提案を受ける。

将来、自習席や開館時間等、開設後における機能拡充に対する要望への対応については、市が必要と認めた場合には、契約書等に基づき、事業者に対して変更の協議の請求を行うものと考えている。

浜口 健司
Hamaguchi Kenji

内容橋公園

Q【浜口健司】 内容橋公園(南区内谷)のトイレについて、自治会から提出されたトイレ設置要望の対応状況、設置に当たっての課題及び今後の整備方針について伺う。

A【都市局長】 トイレを含む公園施設については、利用状況や緊急性、事業効果などを総合的に勘案し、順次整備を進めている。

当該公園のトイレ設置の現状については、現在、関係法令の整理や上下水道などのインフラ条件の確認をはじめ、現場条件に関する調査・検討を進めている。

今後については、現在進めている調査・検討の結果を踏まえて、実施設計や設置工事に向けて、取り組む。

津和野 眞佐子
Tsuwanomasa Masako

沼影公園バスケットコート

Q【津和野眞佐子】 武蔵浦和義務教育学校の工事着手までの間、沼影公園跡地のバスケットボールコートを一時的に開放することについて。

A【副教育長】 教育委員会では、沼影公園内のバスケットボールコートの暫定開放に向け、開放条件、維持管理手法、不具合箇所の補修及び関係所管との調整など課題に対する解決策の検討をしてきた。

このたび、これらの課題の解決策が整理できたため、必要な手続きの調整に入った。

開放を望んでいる地域の皆様の御期待に沿えるよう、早期実現を図る。

川村 準
Kawamura Jun

台風時等の一斉休校

Q【川村準】 台風時等の一斉休校の判断について、台風第6号時の対応の検証結果および改善内容と期待される効果について伺う。

A【副教育長】 検証結果は、「一斉臨時休業の判断をより早く行うこと」、「登校時間帯の安全確保を重視すること」、「保護者等への情報発信を充実させること」の必要性。

改善点は、1.一斉臨時休業時の判断時期は、前日の正午又は午後6時の時点でも行えるように見直した。2.登校時間帯に警戒レベル3相当の大雨警報が見込まれる場合には、一斉臨時休業とする。3.一斉臨時休業の有無にかかわらず保護者へ連絡し、教育委員会ホームページやSNSを活用し、広く周知すること。

桶本 大輔
Okemoto Daisuke

松本地区運行バス

Q【桶本大輔】 武蔵浦和駅から松本地区を運行するバス路線の廃止をする代わりに、新たな交通事業者による、代替交通の構築を行う必要がある。今後の対応について伺う。

A【都市局長】 7月の説明会では、代替交通の構築を検討する前に、まずは現状の路線の継続、または廃止の延長を望む声が多く寄せられた。しかし、小型バスによる路線バスの運行については、運転士の効率的配置といった観点から、新たな事業者も含めて、継続は困難な状況であると認識している。

そのため、国道17号バイパス西側の、大型車が通行可能な道路までの運行経路の確保について、関係者との協議を進めている。

中山 淳一
Nakayama Junichi

武蔵浦和義務教育学校

Q【中山淳一】 武蔵浦和義務教育学校について、開校前に、全ての課題を洗い出し、具体的な解決策を見出す準備はできるのか。

A【教育長】 開校準備委員会では、児童生徒や保護者へのアンケート、教職員からの意見聴取、先行事例の調査などを通じて、引き続き課題の把握に努める。

また、ワーキンググループでは、多様な立場の皆様方がそれぞれの視点から具体的な方策を検討、その内容を共有し、学校づくりを進めている。教育委員会としては、多くの知見や経験を結集し、一つひとつの課題に丁寧に対応し、子どもたちや教職員が安心して学校生活を送ることができるよう、万全の準備に努める。



成功させよう！
ねんりんピック
彩の国さいたま2026

市民と市政のかけはし

1963(S.38)年創刊63周年

KenminKoron

県民公論 第1103号

〒330-0074 浦和区北浦和5-1-6-302
TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623
kenminkoron@sea.plala.or.jp
さいたま市地方記者クラブ

「選ばれる都市」さいたま市の継続

本市の人口増加数の全国順位は去年の7位から6位に上昇



清水 勇人市長

■令和8年熊本地震へ本市から支援

去る7月28日に発生した令和8年熊本地震で本市から、熊本県内の自治体に向け、住家被害認定調査等を行う職員の派遣と、支援物資の提供など、人的・物的支援を行っているところで。

■カナダ・ナナイモ市との提携30周年

カナダ・ナナイモ市との友好都市提携30周年を記念し、17月12日から16日に、添野副議長を団長とする市議会議員団と共に同市を訪問。現地では30周年記念公式式典へ参加するとともに、ナナイモ市長との会談や市内視察等を通じて、教育・文化交流をはじめ、まちづくりや多文化共生に関する意見交換を行いました。

■さいたま市スポーツ特別功労賞

さいたま市スポーツ特別功労賞を、FIFAワールドカップ2026に日本代表として出場し、活躍された鈴木彩艶選手へ、またミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックのフィギュアスケート競技に出場し、複数のメダルを獲得された佐藤駿選手へ、それぞれ贈呈しました。

■人口増加数全国6位に上昇

総務省が7月29日に発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、本市の人口増加数の全国順位は去年の7位から6位に上昇。全国で人口減少が進む中、都市基盤整備や子育て・教育など、市民生活の質の向上に資する施策を進めてきた結果と受け止めております。

■地下鉄7号線延伸へ一歩前進

地下鉄7号線の延伸に向けては、6月30日に鉄道事業者から事業実施要請に対する回答があり、鉄道事業者による国への「整備構想・営業構想」の認定申請に向けて、また一歩前進できたと考えております。

■子育て支援と文化芸術の「浦和カルエ」

浦和駅西口の再開発事業では、6月30日に複合施設の浦和カルエ*1が竣工。8月3日には子育て支援センターうらわが移転、来年4月にはUrawa U Hall(市民会館うらわ)の開館も予定。

■全国平均上回る小・中学生の学力

8月3日公表の8年度全国学力・学習状況調査で、今年度も小・中学校ともに全国平均を上回る結果となりました。中学校英語では、国が公表する「平均IRTスコア」の最上位層に位置。「自尊意識」の質問、「自分には、よいところがあると思う」という項目で、肯定的な回答をした割合が小・中学校ともに93.5%と、非常に高い水準となりました。この結果は、本市独自の教育の成果が大きく表れたものと考えております。

■全国初ペロブスカイト太陽電池を設置

環境分野における先進的な取組として、上小(かみこ)小学校体育館の屋根にフィルム型ペロブスカイト太陽電池(フィルム型PSC)*2を設置、8月25日に森下千里環境大臣政務官を迎えて、お披露目式を行いました。これは、環境省の「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業」に、国内で初めて、本市が採択を受けた事業です。

■夏祭りと花火大会での笑顔

今年も各地で夏の風物詩であります夏祭り及び花火大会を開催。まち全体がにぎわいに包まれ、皆様が笑顔で交流される様子を見ることができました。これらの催しが地域の絆を深める場となり、皆様の心に残る思い出になったものと感じております。

■ゆるバースでヌウの応援を

10月3日・4日開催の、ゆるキャラ日本一を決める「ゆるバース2026」の決選投票会場に、さいたま新都心が選ばれました。本市からは、「つなぐ竜ヌウ」が出場しております。今年は本市誕生25周年という特別な年でもあり、開催地の自治体として、ヌウの魅力、さいたま市の魅力を全国へ届ける大会となるよう、共に盛り上げてまいりたいと考えております。

県民公論のマスコット



*1 浦和カルエ

・8月から「子育て支援センターうらわ」が開設。

・来年4月には「市民会館うらわ(ウラワユーホール)」が開館。

・「カルエ」とは、浦和の文化を継承し、新たな文化を発信する場として、「culture(芸術・文化)」「education(教育)」からネーミング。

*2 フィルム型PSC

「薄い・軽い・柔軟である・曲がる」といった特性を持ち、ビルの壁面や屋根まで設置が難しかった場所にも導入できる可能性がある。



県民公論 電子版

こちらからどうぞ→



成功させよう！ねんりんピック

元気な「オールド埼玉」100歳時代KickOff

11月7日(土)から10日(火)まで、さいたま市を始め埼玉県内各地を会場として、60歳以上を対象としたスポーツと文化・健康と福祉の祭典「ねんりんピック彩の国さいたま2026(主催:厚生労働省・埼玉県・さいたま市・長寿社会開発センター)」が開催され、埼玉県に約5万人の選手・関係者が結集します。

ねんりんピックeスポーツ競技の、さいたま市代表選手が記者を務める県民公論は、昨年1月に「ねんりんピック彩の国さいたま2026応援団」を結成、この9月までに、各種イベントを独自開催、広報物約1万点を配布啓蒙して本大会の周知普及活動を展開、大会成功に貢献しています。(臣)



埼玉大会
公式HPです

成功させよう！ねんりんピック彩の国さいたま2026

成功させよう！ねんりんピック彩の国さいたま2026



大宮区

立憲

佐伯加寿美
Saeki Kazumi

大宮国際中等教育学校

Q【立・国・無代表】 大宮国際中等教育学校で実施している探究学習を横展開していくことについて、また、探究学習の意義について伺う。

【教育長】 教育委員会では、大宮国際中等教育学校をはじめ、市立高等学校等4校で培われてきた探究学習の成果を小・中・特別支援学校へ広げるため、これまで授業公開や実践共有を通して教員の指導力向上を図ってきた。今年度は、市立高校等4校の生徒による探究学習成果発表会を開催、小・中学校等へ横展開する。本市では、全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える児童生徒の割合が高いという状況である。

中央区

公明党

照喜納弘志
Terukina Hiroshi

ばらストリート

Q【公明党代表】 ばらまつりの開催について、与野本町駅から、会場の与野公園に行くまでをばらストリートにしてはどうか。街をあげて会場への導線のにぎわいを創出するべき。

A【副市長】 家屋や公共施設へのばらの植栽をはじめ、駅から会場までの沿道空間を演出する「ばらストリート」については、会場までの通りは住宅地が多いので、地元の要望も伺いながら、与野公演150周年に向け、ばらまつりの会場演出を含め、ばらを中心とした賑わいの創出について、実行委員会や関係団体と検討する際の参考とする。実行委員会の取組を支援し、ばらまつりの魅力向上と地域のにぎわい創出につながるよう取り組む。

貝沼区

共産党

鳥羽 恵
Toba Megumi

七里駅北口の桜

Q【共産党代表】 七里駅北口の桜について、土地区画整理組合が話し合いに応じず、樹木診断結果にも相違がある。市の責任で協議と検証を再度するべきではないか。

A【副市長】 診断結果には相違があるが、当該樹木を伐採するという組合の方針は尊重する。

しかしながら、桜の木に寄せられる市民の皆様の思いを踏まえ、この桜を接ぎ木によって駅前広場やその他の公共用地へ植樹をして、次世代に残していきたいと考えている。併せて、この桜の思いを共有するため、接ぎ木用に採取した枝を市民の皆様に配布するイベントを検討している。

大宮区

自民党

新藤 信夫
Shindo Nobuo

生物多様性支援センター

Q【自民党代表】 生物多様性活動支援センターの業務拡大への対応と30by30(サーティバイサーティ)目標の達成見込みについて。

A【市長】 「さいたま市生物多様性活動支援センター」は、生物多様性の保全活動に必要な、支援業務を行っている。今後、新規事業に取り組んでいくための推進体制と、AIやビッグデータなどの活用や民間団体、企業等との連携を図り、本市のネイチャーポジティブの実現を目指す。

国が示す30by30目標は、本市としても可能な限り保護地域の拡大を図っていく必要があると考えている。

30by30とは(環境省)→



緑区

公明党

神坂達成
Kamisaka Tatsuki

浦和美園の土地利用

Q【公明党代表】 順天堂大学病院予定地を含む浦和美園地区についての将来像、県との協議も含め、今後の土地利用を検討しているか。

A【副市長】 本市の副都心の一つとしての位置づけや、地下鉄7号線の延伸など、「美園地区」の今後の更なる発展を踏まえた地域の特性、あるいはニーズを把握し、美園地区ひいては市全体にとっても更なる発展に資するような将来像を描き、より効果的な土地利用の検討を進める。

当該地区における隣接した県有地と市有地においては、県市それぞれが独自にその利活用方法を検討している状況だが、隣接する大規模用地であるので、県とは引き続き情報交換等を図る。

南区

共産党

金子昭代
Kaneko Akiyo

JRワンマン運転

Q【共産党代表】 首都圏でワンマン運転が開始され、関係者から危険性を伺っている。市内では京浜東北線や埼京線のワンマン運転が予定されているが、市として中止を求めるべき。

A【副市長】 JR東日本よりワンマン運転の実施計画について、安全性は、運転席に乗降確認モニタを設置する、異常時には利用者と輸送指令員との通話や、輸送指令室から直接車内放送を行う機能を導入するという説明を受けている。本市としては引き続き、安全に万全を期すことをお願いしており、JR東日本に対して、導入の中止を求めることは考えていない。引き続き、安全対策の実施状況や利用者への影響について注視する。

貝沼区

みらい

中山欽哉
Nakayama Kinya

別所沼公園100周年

Q【みらい代表】 別所沼公園の将来像と利用環境整備・ランドデザインの検討状況と今後の予定について伺う。

A【市長】 別所沼公園では、都市公園法に基づく公園協議会を設置し、地元自治会や公園利用団体、また学識者等とともに、公園利用者の利便の向上に向けた、公園づくりを行っている。別所沼公園ランドデザインは、2027年に開園から100周年の節目を迎える別所沼公園の将来像や再整備のあり方を示し、公園に関わる全てのひとと共有することを目的に、策定するもの。今後は、来年度に協議会でとりまとめた案について、本市へ提言をいただく。

令和8年9月さいたま市議会代表&一般質問特集

注目質問・答弁抜粋、要約(文責 本紙)

※参考QRコードは本紙が選択

岩槻区

無所属

佐藤征治郎
Sato Seishiro

予備自衛官職員

Q【佐藤征治郎】 予備自衛官特例法と職員の職務専念義務について、(1)予備自衛官たる職員の有無。(2)任命権者としての受け止め。(3)市民サービスへの影響について伺う。

A【総務局長】 (1)職員が予備自衛官を兼業し、報酬を受ける場合は、届出を必要とするが、令和8年9月1日現在で届出のある職員はいない。(2)令和8年6月に公布された、「予備自衛官等兼業特例法」は、予備自衛官等の兼業を行う場合の特例を設けるもの。本市としても、その取扱いを踏まえ、適切に対応する。(3)職員が、予備自衛官として招集命令に応じる場合、各局区内で、市民サービスへの支障をきたすことがないように努める。

北区

無所属

吉田一郎
Yoshida ichiro

三蔵法師の遺骨

Q【吉田一郎】 三蔵法師の遺骨が、岩槻区の慈恩寺で保管されているため、大慈恩寺へ返還すべきである。

A【副教育長】 岩槻区の慈恩寺に安置されている玄奘三蔵法師の御遺骨は、戦時中に南京で発見された頭骨の一部が日本へ分骨されたものであり、当初は東京の増上寺に安置されたものが、戦後、慈恩寺に移されたものと認識している。

また、御遺骨の一部は、日本、台湾及び中国南京の寺院等に安置されている。御遺骨の分骨や、安置先に関します事項については、所有者である慈恩寺、及び関係者間で判断されるべき事項で、教育委員会が見解を申し上げる立場にはない。

緑区

立憲

堤日出喜
Tsutsumi Hideki

東浦和駅改札の新設

Q【堤 日出喜】 東浦和駅への新たな改札の設置について、市の認識と取組を伺う。

A【都市局長】 東浦和駅への新たな改札の設置については、駅西側からのアクセス改善など、駅利用者の利便向上につながるものと認識している。

取組として、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会と埼玉県との鉄道整備要望を通じて、毎年、鉄道事業者に対して東浦和駅西側改札口の設置を要望している。新たに改札口を設置する場合、駅利用者数や将来的な利用の見込みが、大変重要な要素になっているが、コロナ禍前の水準まで回復していない。東浦和駅西側改札口の設置について、鉄道事業者に対し、引き続き要望する。

緑区

自民党

都築龍太
TsuZuki Ryuta

駒場スタジアム

Q【都築龍太】 浦和駒場スタジアム(浦和区)の観客席やトイレの老朽化が進んでいるが、どのような対応をしているのか。

A【スポーツ文化局長】 浦和駒場スタジアムは、メインスタンドの一部は築40年以上が経過しており、観客席やトイレなども老朽化が進んでいるものと認識をしている。

観客席は、昨年度は約40席の更新を行い、トイレは、昨年度9基を洋式化した。

今年度以降も継続して修繕を実施していく必要があると認識をしている。今後も、観客席やトイレに限らず、利用者の安全性や利便性を考慮しながら、必要な箇所の修繕に取り組む。

緑区

維新無

秋山朋彦
Akiyama Akihiro

地下鉄延伸と地中熱利用

Q【秋山朋彦】 地下鉄7号線延伸事業を実施する上での、地下空間の開発に合わせた地中熱利用について提案する。市の見解を伺う。

A【都市戦略本部長】 提案の、地中熱を利用した施設の導入は、CO2排出量の削減や省エネルギー効果によるランニングコストの縮減、冷房排熱を大気に出さないことによるヒートアイランドの抑制など、環境改善効果が期待でき、鉄道事業への地中熱利用は、小田急小田原線の複々線化事業で実績がある。延伸事業の実施に向けては、埼玉県や鉄道事業者との協議を行っているので、地中熱利用導入の可能性については、その協議の機会に、本市から提案する。

浦和区

維新

北岡久住
Kitaoka Kuju

シルバーeスポーツ

Q【北岡久住】 公民館を活用したシルバーeスポーツについて、デジタル技術活用で、高齢者コミュニティが拡張し、社会参加の機会拡大や孤立防止につながる。市の見解は。

A【福祉局長】 既存のコミュニティやデジタル技術等の活用は、高齢者の交流促進や健康づくりを推進する上で有効であると考えている。現在、本市では老人福祉センター等においてシルバーeスポーツを実施しているが、今後、公民館などの地域資源の活用も含め、高齢者の社会参加や介護予防の推進に資するeスポーツの活用について検討する。

シルバーeスポーツとは→



緑区

自民党

石関洋臣
Ishizeki Hiroomi

美園地区学校規模適正化

Q【石関洋臣】 美園北小学校(緑区美園)は児童数、学級数ともに、何学級まで増えると思込むか。学校施設の教室数は足りるか。

A【教育長】 美園北小学校では、令和8年度は、児童数1,511人、52学級のところ、令和11年度には約1,589人、54学級となる見込みで、その後も同程度で推移すると見込んでいる。現時点では、仮設校舎を含めた既存施設により、必要な教室数は確保できる見込み。今後計画される開発事業等により、推計を上回って児童数が増加する可能性もあるが、一定程度の増加であれば既存施設の活用で対応可能と考える。引き続き、学校規模の適正化と教育環境の整備に取り組む。

中央区

立憲

高柳俊哉
Takayanagi Toshiya

与野中央公園整備

Q【高柳俊哉】 市の想定する、与野中央公園くさはら広場エリアでの設置の場合、周辺環境との調和を図るデザイン・機能が重視されるべきと考えるが、市の方針を伺う。

A【スポーツ文化局長】 整備については、防災上の拠点、レクリエーションの核、緑の核といった与野中央公園の整備方針を踏まえ、施設の構造・デザインについて公園内の緑地との調和を図ることや「さいたま市緑の基本計画」等に基づき、緑化などを積極的に行う。なお、整備予定地については、これまで複数回の地質調査を行い、施設整備に必要な地盤の安全性を確認している。

今後、市民にとって利用しやすい施設となるよう事業推進する。